



“教育のゲーミフィケーション”を具現化！クラウド型学習システム「すらら」 NPO法人アスイクのフリースクール事業に「すらら」の提供を本格的に開始

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、NPO法人アスイク（所在地：宮城県仙台市、代表理事：大橋雄介）が運営するフリースクール事業にクラウド型学習システム「すらら」の提供を11月1日（日）より本格的に開始します。

この度、NPO法人アスイクが被災地の不登校生徒、高校中退者を受け入れるため立ち上げたフリースクール事業において、NPO法人アスイクが被災、児童扶養手当、生活保護世帯への授業料を大幅に減免し提供することから、仙台市内に開設した1つ目のフリースクール（詳細次頁）に、「すらら」を通常より低価格にて提供します。試験的に提供していた際、不登校生・スタッフにとって下記のような有用性が見込めることから、今回の本格的な提供へと至りました。

■学び直しに効果を発揮

- ・家庭学習ができるため、場所や時間の制約を受けず学習時間を増やしやすい
- ・生徒の実力に合わせてアダプティブに問題を出すので不登校が長く学校の授業を忘れてしまった生徒でもわかりやすい

■教務指導の負担を軽減

- ・対話型アニメーション教材であるため教務指導の負担が軽減され、教務経験が少ないスタッフでも不登校生の学習面の指導が可能
- ・教務で空いた時間にスタッフは不登校生の心のケアに、より時間を割くことができる

■コーチング機能により生徒の学習意欲を喚起

- ・スタッフが生徒の目標を設定できる「ラーニングデザイナー機能」や生徒の状況を詳細に把握出来る機能等により、スタッフが「適度な距離感で適度なコミュニケーション」をとりながらのコーチングが可能となるため、学習習慣がなくなりがちな不登校生の学習意欲の喚起に繋がる。

近年、不登校生が増加傾向にあるなか、フリースクールでの学習を義務教育の制度に位置付ける法制化の動きがあります。また、文部科学省の有識者会議においては、2015年度中に民間フリースクール（あるいはそれを利用する子ども）を公的に支援する制度を検討することになっています。

また、今回「すらら」を提供するフリースクールがある仙台では、震災後の避難生活の長期化による孤立化・親子関係の悪化による不登校生の増加が見られます。仙台市は復興が進みつつあるものの、未だに仮設住宅に住む家庭も多い状況です。また、集合型の仮設住宅ではなく、賃貸などのみなし仮設住宅も多く、社会的な孤立が生じていることから、結果として保護者がストレスを抱え親子関係の悪化も目立っています。このような状況の中、仙台市の不登校生の比率は震災後上昇しており、全国平均と比較しても高い状況にあります。しかしながら、受け入れ先の数が十分とは言えず、価格も高い傾向にあります。そこでNPO法人アスイクでは子どもの心に寄り添い、経済的負担がなく利用できるフリースクールを開設し、基礎学力向上支援として「すらら」を導入することに至りました。



今後もすららネットでは、クラウド型学習システム「すらら」をご利用いただくことで、様々な環境下の子どもたちに対し学習サポートを提供するとともに、指導者側の負担軽減の一助となりたいと考えております。



■NPO 法人アスイク運営フリースクール事業概要

- 所在地：宮城県仙台市宮城野区榴岡 4-5-2 大野第2ビル2階
- 開催時間：月曜～金曜（祝日除く）、10:00～17:00
- 対象・定員：仙台市内の不登校状態にある小学生～20歳までの子ども・若者（定員20名）
- プログラム：クラウド型学習システム「すらら」を活用した基礎学力向上支援、
外部の市民ボランティアとの連携による講座（アート、音楽、スポーツ等）、
地元企業や町内会等との連携による就労体験など幅広く企画するが、
団体側からプログラムへの参加を強要せず、基本的には子どもが自分の意思で選択
（あるいは企画）することを大切にする。
- 「すらら」の本格提供開始時期：2015年11月1日～

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【利用者数】 約 30,000 名（2015 年 4 月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーション的要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



▼ログイン後の「すらら」TOP画面

努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：13,795万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>